

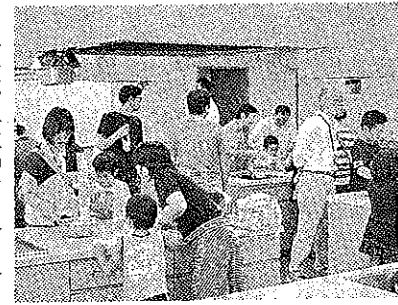
## 夏休み親子防災 体験教室を開催

佐 建 協

【佐賀】(一社)佐賀県建設業協会(岸本剛会長)は6日、夏休み・親子防災体験教室「写真」を佐賀市のアバンセで開催した。参加した親子約30人は、防災マップの作成や強化ポリエチレンを使った炊き出しを体験した。冒頭、岸本会長は「豪雨や台風などの自然災害

が発生した際には、水道や電気など生活に欠かせないものが利用できないこともある。体験教室を通じて、日頃から家族で避難場所の確認など自然災害から身を守る意識を持つきっかけとしてほしい」とあいさつ。

防災マップの作成では、アバンセの会場から神野小学校までを徒歩で往復し、大雨で水が溢れ出そうな水路などの危険箇所を確認。会場に戻り



自治体が作成した防災ハザードマップを参考にしながら、確認した箇所を色塗りした。

炊き出しの体験では、ハイゼックスの調理に挑

戦。縦長の強化ポリエチレンの袋に米と水を入れ、中の空気を抜き、袋の口を輪ゴムで留めて、沸騰した鍋で煮詰めるもので、少ない材料で米の炊き出しができることから災害時などで利用されている。参加者した親子

は、日頃とは違った作り方に試行錯誤しながら米飯の炊き出しを行った。また、午後からは、佐賀県防災センターと嘉瀬川ダムを見学した。